

伊藤たてお実行委員長の開会あいさつ

誰もが安心して医療が受けられる社会を目指して

JPA日本難病・疾病団体協議会の伊藤たておです。集会実行委員会及び難病・慢性疾患全国フォーラムの実行委員会世話人を代表して開会のごあいさつを申し上げます。

本日はご多忙のなか、多くの患者・家族団体、支援者の皆さん、国会各会派の議員の皆様、ご来賓の皆様にご参加いただき心より感謝申し上げます。

本日の集会はいくつかの目的を持っております。

その第1点は、この集会に参加している患者・家族団体の活動の現状や、立法化、法改正などの成果を共有することです。

第2点は、それらの成果が十分に機能しているのかどうか、また不十分な点や改善すべき点があるのかないのかについて確認することです。

第3点は、ようやく作り上げられたそれらの諸制度、対策が十分な効果を多くの国民にもたらす前に、なし崩し的に後退することがないように、また、すりつぶされることがないように、患者・家族団体が協力し合い、連携することを目指すことです。

第4点は、日本の社会保障制度の要であり、世界各国にモデルとしても拡がりつつある国民皆保険制度を守ることを参加団体の共通の目的とすることです。

第5点は、この集会が、今後大きく発展して、日本の患者・家族団体、医療関係者、研究者、福祉や介護関係者、製薬や医療機械・福祉機器の開発にかかわる方々などさまざまな関係者や団体が参加する大きな集会として成長し、患者や家族の皆さんに夢と希望をもたらすものとなることです。

本日は短い時間ではありますが、参加する皆さんの願いと情熱を込めた集会として成功させましょう。